事例No.	2154
公表年度	R4
団体の属性	特別区
団体名	東京都渋谷区

事例区分	DX

タグ	・福祉・介護 ・人材確保・育成 ・ICT

事例種類	地域におけるデジタル人材の育成

事例内容・タイトル

地域に根ざした教え手の育成による高齢者向けデジタル活用支援

出典

地域社会のデジタル化に係る参考事例集【第2.0版】

174 地域に根ざした教え手の育成による高齢者向けデジタル活用支援【東京都渋谷区】

事業の概要

○ 渋谷区では、令和３年7月から区独自のデジタル活用支援員の育成事業を開始した。

○ 当該事業の研修を受講し、認定試験に合格すると区が認める「デジタル活用支援員」として活動することができる。

○ 受講者はスマホ相談員育成研修（1対1で高齢者のサポートを行うための研修）を受講し、認定試験を受験する。合格後に、さらなるステップアップを希望する者は、スマホ講師育成研修（教室形式で同時に複数の高齢者へサポートを行うための研修）を受講することができる。



※ 渋谷区の「デジタル活用支援員」は、総務省が実施しているデジタル活用支援推進事業(国事業)における講師とは異なる。

【参考情報】 人口：23.1万人
関連URL：
https://www.city.shibuya.tokyo.jp/kurashi/koreisha/fukushi/djiitalkatsuyou.html（区HP）

もっと知りたい！ 担当者にインタビュー



取組の経緯・きっかけを教えてください。

（総務省）

ウィズコロナ時代に求められる「新しい生活様式」においては、スマートフォン等のデジタル機器の活用の可否が生活の質（QOL）を高める大きな要素です。一方で、多くの高齢者がスマホを未保有で、スマホを保有している高齢者も操作に不慣れな方が多く、「新しい生活様式」下においては高齢者とそれ以外の人とのデジタルデバイドが一層拡大する恐れがありました。

そこで高齢者に対してデジタル機器の活用を促進し、様々なデジタルサービスの恩恵を享受してもらうことにより、高齢者の生活の質（QOL）の向上を目指した総合的なデジタルデバイド解消対策を実施することになりました。

本取組は、デジタルデバイド解消事業における地域の力を活用したデジタル活用支援事業です。



（渋谷区）



事業の近況を教えてください。

18歳以上の区民等の中からスマホ活用のリーダー的存在となる「デジタル活用支援員」を育成・活用しています。デジタル活用支援員が区主催のスマホ相談会の相談員や講習会等で活動することで、継続的なサポート体制を構築し、高齢者との世代間交流を促進します。



★担当：渋谷区生涯活躍推進部 生涯活躍推進課★

令和3年度事業費　7,322千円